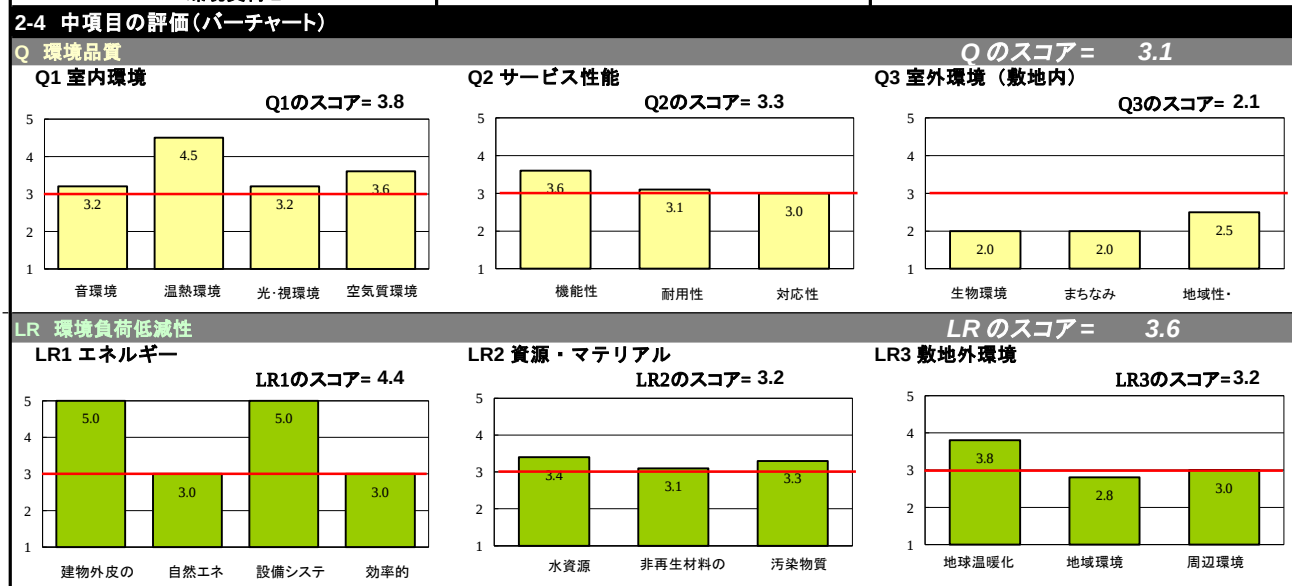
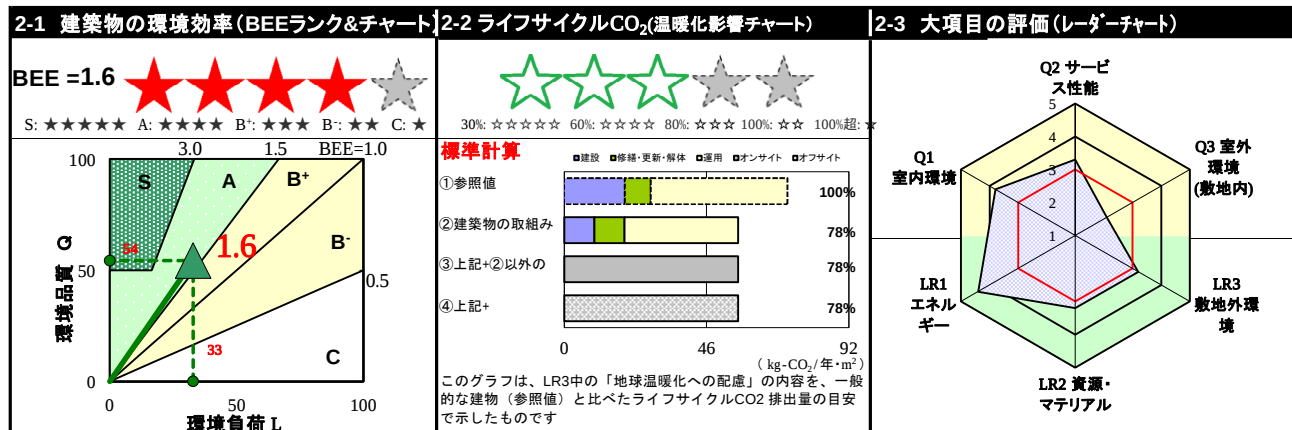


1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	(仮称)八尾市桜ヶ丘4丁目 新築工事	階数	地上13階、地下0階	
建設地	大阪府八尾市桜ヶ丘	構造	RC造	
用途地域	第2種住居地域、準防火地域	平均居住人員	159 人	
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)	
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2027年4月 予定	評価の実施日	2025年7月1日	
敷地面積	1,430 m ²	作成者	株式会社日企設計 森田俊和	
建築面積	585 m ²	確認日	2025年7月1日	
延床面積	5,161 m ²	確認者	株式会社日企設計 森田俊和	



3 設計上の配慮事項		
総合	高い断熱性能を確保し、採光が十分にできる窓を採用することで室内環境の向上に配慮している。	その他 特に無し
Q1 室内環境	F☆☆☆☆の建材をほぼ全面的に採用し、空気質環境に配慮している。	Q2 サービス性能 耐用年数が高い外壁材や配管の使用等により、建物の耐用性に配慮している。
Q3 室外環境(敷地内)		敷地内に緑化を行っている。
LR1 エネルギー	設備システムの高効率化に努めている。	LR2 資源・マテリアル グリーン調達品目やノンフロン断熱材の使用により、資源の保護に努めている。
LR3 敷地外環境		特に無し

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

【建物概要】 建物名称		(仮称)八尾市桜ヶ丘4丁目 新築工事								
建設地		大阪府八尾市桜ヶ丘								
用途／区分		集合住宅								
【評価結果】	CASBEE 総合評価						A			
①	CO2削減						4			
②	みどり・ヒート アイランド対策						3			
③	断熱性能							5		
	建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分						5		
④	エネルギー消費性能							5		
	建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分						2		
		非住宅建築物又は 複合建築物の非住宅部分	評価対象外					評価対象外		
⑤	自然エネルギー直接利用							○		
	再生可能エネルギー		太陽光発電	○	風力	—	地熱	—		—
	利用施設の導入状況		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—		—

	エネルギー消費量の報告	対象外
--	-------------	-----

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE LR3 敷地外環境 1. 地球温暖化への配慮	3.8	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 1. 生物環境の保全と創出	2.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 3. 2 敷地内温熱環境の向上	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE LR3 敷地外環境 2. 2 温熱環境悪化の改善	3.0	
③ 断熱性能	CASBEE LR1 エネルギー 1. 建物外皮の熱負荷抑制	5.0	5
④ エネルギー消費性能	CASBEE LR1 エネルギー 3. 設備システムの効率化	5.0	5
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE LR1 エネルギー 2. 自然エネルギー利用	3.0	○
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	—

その他		
先進的技術の導入	技術の名称	考慮事項
特に配慮した事項		